

「マーズ・サイクラーの帰還 紹介文」

岡和田晃

『エクリプス・フェイズ』日本語版の翻訳監修者である朱鷺田祐介の手になる短篇小説第2弾「マーズ・サイクラーの帰還」をお贈りする。

今回の舞台は、なんと巨大な宇宙船。

『エクリプス・フェイズ』は魂を遠隔地に投射し現地で義体<sup>モイブ</sup>を調達するエゴキヤステイングという独特の移動手段が広まっているが、一方で、昔ながらの宇宙船を使って旅を行なう者たちも根強く存在するのだ。

火星<sup>マーズ</sup>周回船「美味なる沈黙」号のエキゾチックな描写と、そこで秘密結社ファイアウォールの一員がいかなる働きをするのか、とくと注視されたい。

朱鷺田祐介は日本を代表するゲームデザイナー／ライターの一人として知られるが、『超古代文明』『酒の伝説』といった設定資料本の執筆も手がけている。本作はそうした社会史的な仕事のセンスがゲームの文脈で発揮された逸品と読むこともできるだろう。